

2019年9月27日
京成タウンバス株式会社

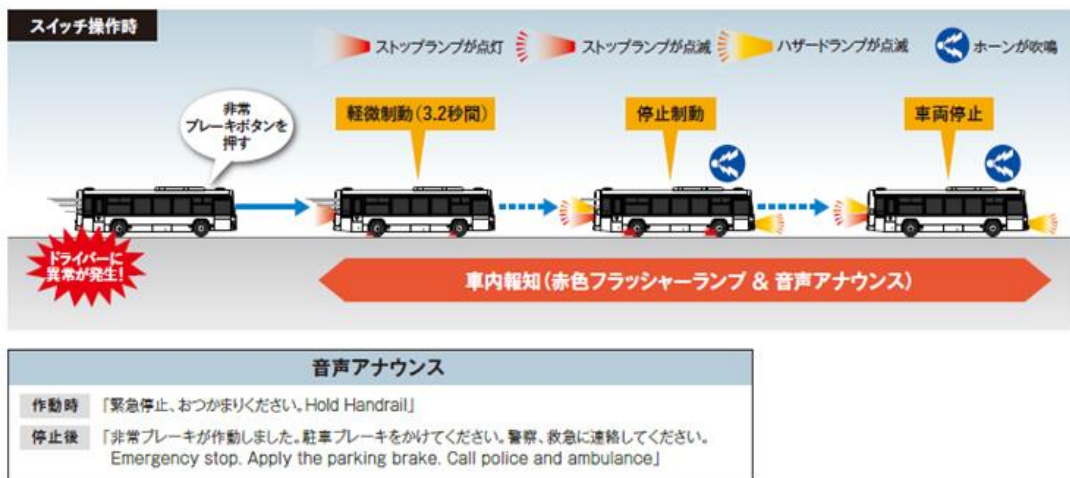
「ドライバー異常時対応システム」搭載の

大型路線バスを導入しました

9月27日(金)より

京成タウンバス株式会社では、大型路線バスに「ドライバー異常時対応システム」(EDSS:Emergency Driving Stop System)を搭載した車両を1両導入し、9月27日から運行を開始します。

「ドライバー異常時対応システム」(EDSS:Emergency Driving Stop System)



非常ボタン(客席部前方1か所)



非常ボタン(運転席左側)

「ドライバー異常時対応システム」とは、バス走行中に異常が発生した際、乗務員が運転席のスイッチを押すか、お客様が客席前方上部に設置された非常ブレーキスイッチを押すことで、車両が制動を開始し、段階的に速度を落とし停止するものです。また、車内では赤色フラッシャーの点滅と音声アナウンスによりお客様にお知らせするほか、車外へはホーンを鳴らし、ストップランプとハザードランプを点滅させてバスの周囲へ異常を知らせます。

当社では、新造車両から「ドライバー異常時対応システム」を標準搭載し、お客様に安心・安全にご利用いただくため、これからもバス輸送サービスの安全対策に取り組んでまいります。

お客様のお問い合わせ先

京成タウンバス株式会社 奥戸営業所 TEL:03-5671-0360

以上

ご参考:「ドライバー異常時対応システム」搭載車両(大型路線バス)の概要

1. 車種 いすゞ自動車 2DG-LV290N3 大型路線バス(ノンステップ)
2. 安全装置 ドライバー異常時対応システム
(緊急ボタンを押すことで、自動で制動を開始し停止させます。)
3. 運行路線 大型車両が走行可能な一般路線全線
4. 導入日 2019年9月27日(金)

